



校訓：夢・挑戦・敬愛
創立145年(1881～)

つなぐ・つなげる 伝統

石小ふるさと祭り1997～

1年：ヨイシン
2年：稲しり節
3年：コイナユンタ
4年：マミドーマ
5年：繁盛節・棒術・獅子・ププビト
6年：繁盛節・棒術旗頭・ツナヌミン

鼓笛隊：S52～(6年)
第41回 石小まつり
第52号 石小作品集

主な体験活動・社会見学

1年：校内めぐり 自然体験
2年：校区めぐり 自然体験
3年：地域めぐり 文化・歴史
4年：福祉体験 いのちの授業 ゆかりの町(上板町)交流
5年：宿泊学習 稲作体験
6年：修学旅行 職場見学

※鷲ぬ節 舞踊/三線：5・6年

自ら学ぶ

- 自立した学習者の育成 → 学び方を習得し自己調整力を高める
 - ・指導の個別化、マイプラン学習
- 読書があたりまえの風土作り(いつでも・どこでも・だれもが読書)
- 家庭学習の習慣化(回復・丁寧・継続)
 - ・学年に応じた自学自習計画書の活用
- 自分でできる、みんなとできる、できるまで学ぶ力の育成
- 健康・体力の向上
 - ・「食べて、動いて、よく眠る」
 - ・てくてく徒歩登校推奨 自分でつくるお弁当の日(年2回)
 - ・4年：いのちの授業 5年：思春期教室 6年：心と体の教室/薬物教室
- 運動遊びの日常化
 - ・一校一運動(なわとび)
- 自己管理能力の育成
 - ・段階的な情報モラル指導、SNS教室
- 危機回避能力の育成 ※自分の命は自分で守る安全教育
 - ・現実的な避難訓練(地震・火災・不審者避難訓練) 着衣泳

学びの質を高める授業改善

- 評価を学びに生かす学習サイクル
 - ・児童：フィードバックで確かな学び
 - ・教師：結果を授業改善に反映
- 指導観・学習観のアップデート
 - ・教師同士の協働改善
- 「問い」を持ち、主体的に学ぶ授業の推進
- 基礎・基本の確かな定着と活用力の育成(学力調査トレーニング実施)
 - ・読める、書ける、計算できる、説明できる→読み解ける、活用できる
- 夢の子タイムの継続と充実
 - ・月曜：読書・読み聞かせ 火曜：漢字
 - ・木曜：視写(4年以上子ども天声人語) 金曜：計算(月1回計算力大会)
- タブレット端末・ICT機器の効果的な活用
 - ・情報活用能力の育成・プレゼンカの向上(発表、ドリームプロジェクト)
 - ・Classroom, Teams, AIドリル、学習アプリの活用
- か：関わる力、ふ：振り返る力、や：やり抜く力、み：見通す力

共に育つ

- 支持的風土づくり ①安心(居場所) ②所属(絆) ③承認 ④自律
- 学びに向かう集団づくり
 - ・チャイム黙想の徹底→授業開始
- 勇気づけの教育 →「なりたい自分」を意識して、行動・努力し続ける
 - ・自己存在感、共感的な人間関係、自己決定の場、安全・安心な風土の醸成
- 生徒支援の充実
 - ・子ども支援会議(月1回)を核としたチーム支援
 - ・いじめアンケート(月1回) ・SLS, SC,SSW,関係機関との連携
- 特別活動の充実
 - ・話し合い活動のスキルアップ
 - ・児童会活動の活性化 委員会(6年)：計画、放送、体育、栽培、図書、保健、生活、給食
- 特別の教科道徳の充実
 - ・考え議論する道徳の推進
- SDGsの実現に向けた教育の推進

つなぐ・つなげるキャリア教育

- 系統的な「ふるさと教育」
 - ・生活科や総合的な学習の時間を核にした郷土学習
 - ・三線体験 ・郷土舞踊体験 ・石小ふるさと祭り
- 本物に出合い学ぶ場の提供と振り返りの充実
 - ・社会見学、職場体験、キャリア体験、夢育講話
- ドリームパスポートの効果的活用
- 異学年交流の推進
 - ・たてわり班清掃 ・教科交流 ・給食交流 ・ふれあい読み聞かせ
- 「できるをつなぎ」のばす」保幼こ小中高連携
 - ・校区内保幼こ小連携石小ランド、憧れの先輩に学ぶ「ようこそ先輩」、中学校授業体験、高校生徒交流授業、石中校区教職員合同研修会

カリキュラム・マネジメントの充実

- 教科横断的な視点で学習内容を配列
 - ・学校教育目標実現に向けた視点 ・探究的な学び
- 教育内容の質の向上に向けた教育課程の・実施・評価・改善
- 人的・物的な教育資源の効果的な活用
 - ・人、モノ、コト、思い ・専門家や関係機関と連携授業

教職員の資質能力・指導力の向上

- 沖縄県教職員等育成指標の周知・活用 ・自己ステージと指標を意識
- 校内研修の充実・各種研修会の参加とフィードバック
 - ・教育情報の共有 ・各種研修会等の学びのアウトプット
- 保護者・地域との連携(学校運営協議会発足)
- 各種教育活動の指導者要請 ・地域への情報発信(学校だより、HP)
- 教育DXで校務軽減 ・Teams及びC4th ・スクールガイド tetoru

みんなの学校！ピースフルプラン「チームと対話」

- 自分自身でセルフケア (ストレスチェックの確実な受診、自分の予防法や回復アイテムを知る)
- 同僚としてチームケア (互いに思いやれる職場作り、同僚の不調のサインに気づく、管理者や相談機関へつなげる)
- 自分の時間をもち対話する (成果指標の目標値 ①「3軸・6視点」に関する学校評価で肯定的回答80%以上 ②超過勤務月45時間未満)